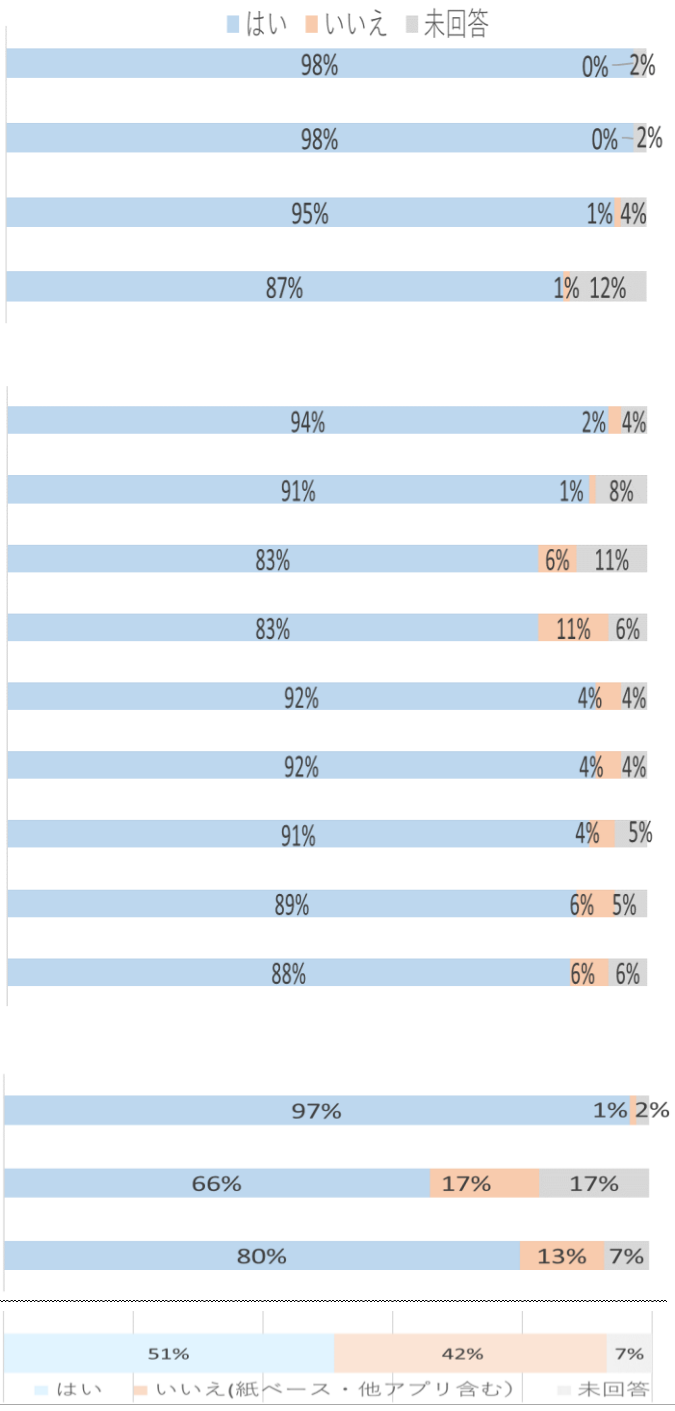
資料２

2022 阿波おどりにおける感染症対策のアンケート調査について

- アンケート実施期間　令和4年8月31日(水)～9月9日(金)（10日間）
- 対象者　2022阿波おどり参加連
- アンケート依頼連数　123 連
- 回答数　86 連　（回答率:70%）
- 未回答数　37 連

アンケート調査項目



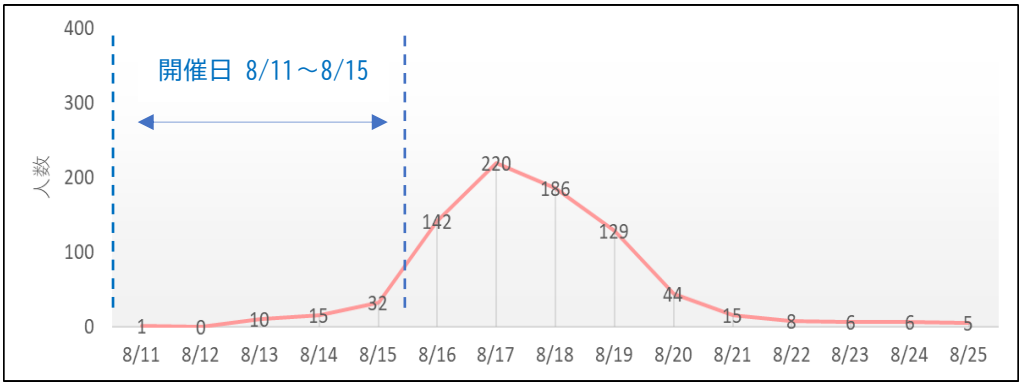
●開催日当日の参加者と、健康観察期間に「陽性」が判明した参加者の人数

（単位:人）

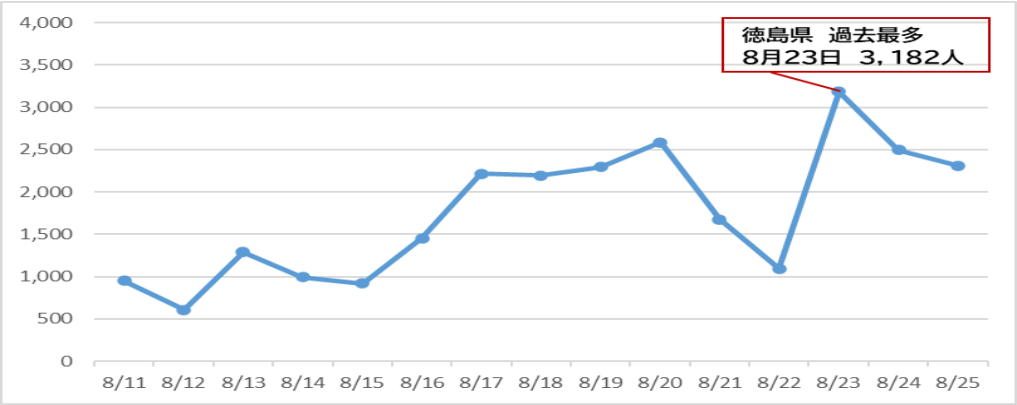
陽性者判明数																計
判明日	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	
阿波おどり振興協会・徳島県阿波踊り協会所属連	1	0	5	14	29	117	191	155	93	34	15	8	5	5	5	677
その他の連	0	0	5	1	3	25	29	31	36	10	0	0	1	1	0	142
合計	1	0	10	15	32	142	220	186	129	44	15	8	6	6	5	819

8月11日～15日　参加者数(推計)　3,425 人
陽性者率(8月11日～25日)　24 %

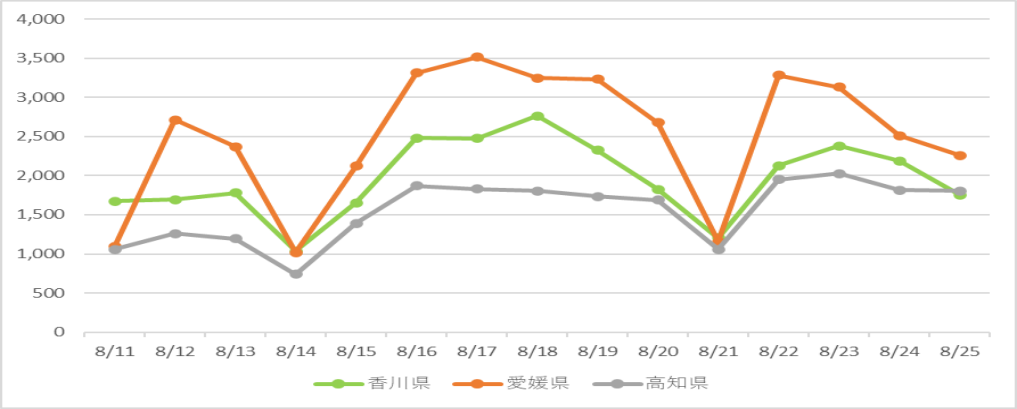
陽性が判明した踊り手の人数



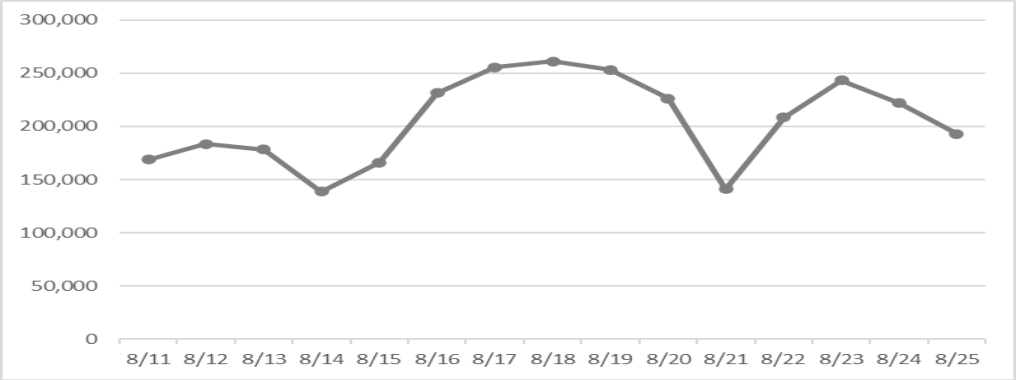
徳島県感染者数（判明日）



四国他３県感染者数（判明日）



全国感染者数（判明日）



※各グラフは、日本国内の感染者数（NHK まとめ）及び 徳島県発表データから実行委員会事務局にて作成。

2022 阿波おどりの感染症対策についての意見

【全般】

1　３年ぶりの阿波おどりに参加できてよかったです。個々に感染症対策にもっと注意すべきだと思います。

2　主催者側・連側（その他の連）も感染対策はして頑張っていたと思います。しかし、現実に感染者が出たことは、本番を迎えられた事への気の緩みがあったのかもしれません。これで大丈夫という感染対策はないが、これから感染に気を付けながら阿波おどりと向き合っていきたいと思います。本当に頑張っている連員には罪はありません。阿波おどり関係者が肩身の狭い状況にならないことを願います。

3　入念な感染症対策のもと、実施していただき、本当にありがとうございました。この度は企業連として初めて踊らせていただき、本当にありがとうございました。大変貴重な体験とご参加いただいたお客様も感激されていました。

4　祭りであるので、ある程度の感染は仕方ないのでは。

5　ただでさえお盆は帰省の時期と重なり、各家庭でも県外から戻ったご家族や親戚がいらっしゃったと思います。本番前の期間、練習で十分気を使っていて、もともとは陰性でも踊り直前に感染した方もいらっしゃったことでしょう。今回の踊りで、少なくとも舞台に参加する連には検査を推奨してもよかったのではないかと思います。（それでも１００％は防げなかったと思いますが、発生数は少なくなったのではと思います。）
また、にわか連については、参加者を人数制限し、マスク着用でありましたが、新町橋北詰で行われていた集まり（音楽を流し騒いでいる集団）はなんとかならなかったのでしょうか？参加の方のほとんどがマスクせず大声で騒いでおりました。怖くて近寄れませんでした。これは明らかにマニュアル違反です。
とはいえ、今回阿波踊りが開催されたことは、一徳島人（いち踊り好き）としてはとても嬉しく思っています。事務局の皆様や開催当日の各桟敷等のスタッフの皆様のご尽力のおかげで踊ることができました。ありがとうございました。

6　コロナ禍で大変な中にも関わらず、阿波おどりを開催して下さりありがとうございました。
３年生はコロナのため、大学に入学してから２年間夏の阿波踊りで踊ることができなかったのですが、引退前に最後経験することができ、大変いい思い出ができました。本当にありがとうございました。連員一同感謝しております。これからも阿波踊りの魅力を伝承する活動を続けて参ります。

【具体的な感染症対策について】

1　実行委員会の感染対策マニュアル踊り連ページを控室に張り出し、見える化で周知徹底しました。

2　演舞場は屋外ですが、密になるのを防ぎました。さくらホールでは、広い清潔な控え室を用意していただきました。清潔なトイレもありますので、手洗い等も十分にいたしました。私共の参加した箇所では、感染対策は十分に保たれていたと思います。

3　期間中は桟敷などでマニュアルに定められたルールに添って行動しました。集合から解散までマスクの徹底、桟敷でもマスクの着用、街角での踊りでもマスクの着用、さらに例年であれば街角での踊りの後はお客さんとの交流（一緒に輪踊り）をしていたものを今年は中止。その対策のおかげで連員から感染者を出さずに済みました。

4　私達は、自分達のマニュアルを作成し、感染症対策をしてきました。マイナスに受ける人もいましたが、今年の阿波おどりはよかったと思います。来年以降も前向きに開催して欲しいです。

5　サポートスタッフを一名動員し、各桟敷入口でマスクを回収し、出口にて手指消毒とあわせて新しいマスクを配布していました。

6　演舞中にマスクをする、しないが曖昧になっていた。大人については最低限マウスシールドは必要であったと思う。当連については、マニュアルに基づき自主性に任せました。
演舞場に検温装置や消毒液の設置がされていないのは問題だと思います。連に管理を任せていたのは杜撰で、飲食店であればあり得ない対応です。
演舞終了後、他連でマスクもせずに終了後に密になって記念撮影をしていたのは問題だと思う。それを注意しない運営スタッフも問題。演舞中にマスクもせず、その後盛り上がって楽しんでいた有名連には猛省を促します。楽しい気持ちは非常に理解できますが、阿波おどりを主導する立場として自覚がないと言わざるを得ません。
アプリについて、参加者自身が自分で入力しなければ効果が発揮できないシステムですので、当連ではアプリの導入義務付けを断念し、当日のチェックと後日ヒアリングで対応しました。アプリの運用状況の検証作業は必要です。
地域の公衆衛生に責任を持つ徳島県が「連からの情報がないのでクラスターかどうか判断できない」というコメントを出したのは全国ニュースにもなり非常に恥ずかしいことだと思います。少なくとも前夜祭、選抜、演舞場と連日参加していた有名連に対しては、阿波おどり終了後に速やかに感染状況を報告させることを義務付けるべきであったと思います。

7　参加者を通年であれば全国から踊り手を募集しますが、今回は近隣の四国在住者を中心に選出通常の３分の１で構成し、踊り手と踊り手の間隔を十分に空けるように配慮しました。

8　有料演舞場のみの踊り込みで、人混みを避けて移動しました。待ち時間は一般の人とは接触のない場所で間隔を空けて過ごしました。感染対策にかなり気を遣いましたので大丈夫だったかと思っていましたが、一名陽性者が出たのは残念でした。ただ、一緒に参加した家族は陰性でしたので、感染経路は別なのかとも思います。

9　感染経路は不明である。ただし、休憩室に空気清浄機の設置が必要ではなかったか。（体温計、アルコール消毒、マスクは設置有）

10　控室の換気の徹底や、休憩時に極力会話を控えることについて、できていなかった場面があったかもしれない。

11　移動中はマスク、演舞中はディスタンスできていたと思います。控室に帰って来た時は、入口ではアルコールをして中に入り、会話は小さな声で最小限でしたが、ついマスクを外してしまいましたこと反省しています。コロナ菌を連員誰もが持っていない事を前提としての行動でした。誰もがコロナを持っているとの前提で行動するべきでした。

12　女性の控室が狭かったのではないか。

13　運営側からの注意喚起の徹底や密になっている箇所への声掛けが不足していたなど改善できる部分はあるかと思うが、いずれにせよ無事に実施できたことが何よりと思う。阿波おどり後に１名の陽性者が確認されたが、当人は阿波おどり後に大阪へ移動しており、感染原因について阿波おどりとの関連は不明。世間では、阿波おどりが原因で感染者数が爆発的に増えたと報道されているが、阿波おどりが直接の原因というよりも、阿波おどりに合わせた帰省に伴う親戚との食事や観光等で間接的に増えているように思う。来年はもっと自由にできるといいと思う。大変な中でしたが、お世話になりました。

14　舞台上の換気や飲食が主な要因かと思う。結局、屋外でも防ぐのは困難と感じました。

15　マスクと本番中のマウスガードの速やかな交換が難しいと感じました。マスクとマウスガードの交換や保管はやや手間がかかり、次の演舞場まですぐに移動しなければならない場合は、止むを得ずマウスガードのまま移動することがありました。

16　マスクやマウスシールドをつけていない連が多く見受けられた。

17　今回有名連から多くの感染者が出たことについて、桟敷でマスクをしていない連があった。（マニュアルでは桟敷内はしなくも良いが、桟敷内での構成が普段どおりで、連員の距離感が近いものがあり、このことがマニュアルどおりでない）有名連の多くが前夜祭や選抜の舞台に出演していることから、更衣室・控室での「密」状態が影響した。以上の２点が主な原因であると思います。

【健康管理アプリ導入について】

1　アプリ未対応の者もいるため、「OND'U」は導入せず、全員紙媒体で体調管理を行った。コロナ禍においても、これまで出演や練習を行っており、連員同士の感染は全く無し。お盆は、これまで以上に対策に注意していた。それにも関わらず感染者が複数名出たため、ＢＡ５の影響や　連員の疲れなど単純に対策不足とは断定できない要因があると推測される。

2　実行委員会の対応が遅すぎる。アプリの通知も遅い。

【その他】

1　開催前には既に徳島県内で１，０００人以上の陽性者が記録されており、ある程度陽性者が出ることは想定していたが実際には想定をはるかに上回るものだった。感染予防の観点から言うならば、個人でできる感染予防対策には限界があることから、積極的に接触機会を減らす対応（公演回数や演舞機会の削減）が必要であったと思う。

2　今回アンケートを取られていることは来年以降の対策を計画するにあたって非常に有益であると思います。高円寺や南越谷など他の阿波おどりの実施状況や、高知よさこい祭りとの比較など、幅広くデータを収集し来年開催に向けてご尽力いただけますようお願い申し上げます。

3　総踊りやにわか連は中止した方がよかったと思う。規模も縮小してするべきだった。

4　桟敷の中に観客が踊り込んで来ても、実行委員が静止しなかった。

5　輪踊りを実施したいと言う連員もいましたが、密集になることは確実であり、輪踊りは実施しませんでした。踊りに関しても、密集にならないよう間隔の確保、お客さんとの間隔の確保にも十分注意いたしました。総踊りに参加していないこともあり、密集になることはなかったかと思います。当連からコロナ陽性者が出なかったことは良かったのですが、阿波踊り参加者から多数のコロナ陽性者がでたことは、今後の課題かと思います。

6　確実にやるべきことを周知・徹底すべき。人数が集まるということは、守るべき人が、守らなければならない。

（参考）

阿波おどり未来へつなぐ実行委員会宛て　FAX:088-678-5477　MAIL:info@awaodorimirai.com　【9月9日（金）〆切】

2022阿波おどりにおける感染症対策のアンケート調査について

連名：

1　貴連が実施した感染症対策について、該当するものに☑を付けてください。

練習時		はい	いいえ
1	参加者は自宅で検温をし、参加時には手指消毒、マスク着用を徹底していたか。	□	□
2	体調がすぐれない連員がいた場合は、練習への参加を見送っていたか。	□	□
3	踊り手や鳴り物の間隔は十分な距離を保ち練習していたか。	□	□
4	一定時間で練習を区切り、練習の合間に窓を開けて換気を行っていたか。（屋内の場合）	□	□

開催日当日		はい	いいえ
1	自宅で検温をし、参加時に手指消毒、マスクの着用を徹底していたか。	□	□
2	体調不良の連員がいた場合は、当日であっても出演を見送ったか。	□	□
3	控室を利用する場合は三密を避け、換気を十分に行っていたか。	□	□
4	可能な者は自宅で衣装などの準備を行い、控室の利用を控えるようにしていたか。	□	□
5	入場待機中はすべての踊り手がマスクを着用し、会話は極力控えていたか。	□	□
6	演舞終了後は速やかにマスクを着用し、密集にならないよう退場していたか。	□	□
7	演舞終了後や待機中は、しっかり鼻やあご周りを覆い、サイズの合った不織布マスクを着用していたか。	□	□
8	食事前に手洗い又は手指消毒を行い、休憩時も人との距離を設けていたか。	□	□
9	複数名で食事をとる場合は横並びで座るなど対面を避け、マスクを外している間は会話を極力控えたか。	□	□

その他		はい	いいえ
1	衛生管理担当者が中心となり、連員全員に感染症対策実施マニュアルの周知・徹底を図っていたか。	□	□
2	感染が確認された場合、衛生管理担当者は、個人情報に留意しながら、感染者が発生した旨を速やかに主催者に報告をしたか。	□	□
3	開催の２日前、開催日及び開催後１０日間は毎朝決まった時間に検温をし、衛生管理担当者が中心となって体調管理を行ったか。	□	□
4	体調管理を行うため、健康管理アプリ「OND'U」（パナソニック）を利用していたか。	□	□

2　開催日当日の参加者と、そのうち健康観察期間に「陽性」が判明した参加者の人数を教えてください。

・2022阿波おどりに参加した踊り手の人数（単位：人）

8/11	8/12	8/13	8/14	8/15

・陽性が判明した踊り手の人数（単位：人）

8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20

8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	合計

3　2022阿波おどりの感染症対策についてのご意見などがあればご記入ください。

［　　］